

2023年2月13日

株式会社 電通グループ

代表取締役社長 CEO 五十嵐 博

(東証プライム市場 証券コード：4324)

電通グループ、スペインのコンサルティング会社 「オメガ社」買収により、マークル社の顧客体験マネジメント領域を強化

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、国際市場（海外市場）においてテクノロジーを活用したデータ分析および顧客体験マネジメント（CXM）^{※1}領域をけん引する Merkle（以下「マークル社」）を通じて、スペインの CRM（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）コンサルティング会社である Omega CRM Consulting（本社：スペイン マドリード州、CEO：David García Fuentes、以下「オメガ社」）の株式100%を取得しました。

2002年設立のオメガ社は、独立系のエージェンシーとしてスペイン最大の Salesforce パートナー企業です。約550名のエキスパートを抱え、マドリード本社を含むスペイン国内に10カ所とフランス・パリにオフィスを擁しています。主な事業内容は、医療、小売、教育、製造業など多岐にわたる顧客企業への Salesforce プロダクトの CRM コンサルティング・サービスの提供であり、2022年度の収益は前年比50%以上の成長となる見込みです。

本買収により、オメガ社がマークル社の傘下に加わることで、オメガ社の強みである CRM コンサルティングのノウハウとマークル社の強みであるデータマーケティングの連携を加速させ、マークル社のスペインにおける Salesforce 関連サービスの更なる強化を図ります。

さらに、これにより当社グループ内での、Salesforce のトレーニングを受けたスタッフの数は2,000人以上、Salesforce 認定資格数は5,000人以上になる予定です。

また、2022年12月14日発表の豪州「Aware Services（アウェア・サービス社）」買収^{※2}に続き、本買収も、事業変革の指標として掲げる、連結売上総利益におけるカスタマー・ランスマーケティング＆テクノロジー（CT&T）^{※3} 構成比率拡大に貢献します。当社グループは今後も、同領域へリソースや投資を集中させていくことで、事業変革と持続的な成長を実現していきます。

なお、本件が当社グループの2023年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

【Omega CRM Consulting 社の概要】

正式社名：Omega Customer Relationship Management Consulting, S.L.

本社所在地：スペイン マドリード州

設立：2002年

株主構成：株式取得後、マークル社100%

代表者：David García Fuentes（CEO）

従業員数：約550名

事業内容：Salesforce プロダクトの CRM コンサルティング・サービス

※1：CXM：Customer Experience Management（顧客体験マネジメント）を指します。

※2：豪州の「アウェア・サービス社」買収のリリースは以下の URL よりご覧ください。
<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/000882.html>

※3：当社グループにおけるマーケティング・テクノロジー、カスタマーエクスペリエンスマネジメント、コマース、システム・インテグレーション、トランスフォーメーション&グロース戦略などの事業で構成される高成長領域。

以 上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦

Email：group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。